

●断熱屋から見た「知らなければ損をする住宅性能の話」⑧

健康・快適な省エネ住宅には「気密測定」!

気密測定は、「省エネ」「CO₂削減」「室内環境改善」などととも、住宅の長寿命を実現するためにも必要不可欠な測定となってきています。気密測定は、測定を何回か行なうことで、すき間の起きやすい場所を特定することができます。ただし住宅は、1

棟1棟、間取りも違えば仕様も違うため、戸々の住宅で性能確認が必要なのではないでしょうか。

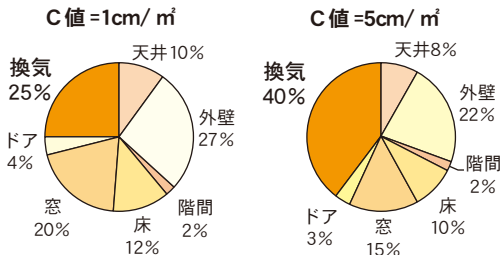
住まいの計画的な換気を行なうためにも、住宅の気密化は重要な要素となり

ます。

住まいに必要な換気量に、すきま風（自然換気回数）による換気量を加えた熱損失を考えてみます。左記の試算グラフのように、住宅全体の性能は同じでも、換気（すきま風を含む）の値が25%から40%となり

ます。つまり、常に15%の冷暖房費のロスとなっているのです。このようなことから、自分の家の気密性能を知ることが大切です。

熱損失量の比較グラフ



●マルフジフォーム工業有限会社
代表取締役

藤井政則 ふじいまさのり



断熱業界にはや21年。断熱、気密、換気、冷暖房4つの視点から住まいの快適性実現のアプローチを行っている。「この環境、なんとかならんか!」という悲鳴に応じて日夜東へ西へ奔走中!

〈問い合わせ〉
福山市千田町千田3183-1
TEL.084-955-3433
<http://www.marufujifoam.com>